



大支事第157号
平成28年5月9日

大分県教育委員会
教育長 工藤利明 様

日本赤十字社大分県支部
支部長 広瀬勝貞

大分県青少年赤十字指導者協議会
会長 岩光一郎



青少年赤十字（JRC）加盟促進について（依頼）

青少年赤十字の育成・普及につきましては、平素から格別のご配慮を賜り、深く感謝申し上げます。

青少年赤十字は1922年に創設され、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つを実践目標とし、世界各国で活動が行われております。この実践目標は、学習指導要領の理念「生きる力」と結びつき、国内でも1万3千校（園）を超える幼稚園、保育所、小・中・高等学校、特別支援学校の中に組織され、約320万人のメンバー（児童・生徒）が自ら「気づき、考え、実行する」を態度目標とし様々な活動を行っています。

県内では昨年度、小学校3校、中学校4校、高等学校2校、合わせて9校の新規加盟があり、203校（園）、約3万5千人のメンバーが、平和学習、防災教育、救急法等の講習、国際親善、募金、美化活動等に取り組んでいます。

防災教育につきましては、今後発生が予想される南海トラフ地震をはじめとする災害に対し子どもたちの「いのちを守る力」を育むため、昨年度県下の全小・中・高等学校へ配布した青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」を通して、学校現場における防災教育のさらなる普及に寄与したいと考えております。

つきましては、貴教育委員会管下の各幼稚園、小・中・高等学校並びに盲・聾・支援学校に対し、青少年赤十字への加盟について特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

なお、加盟に伴う経費負担や義務は一切ないことを申し添えます。